

2023 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	時事問題 (Current Topics) 393145-14-200					担当教員	樋口 圭治 (ヒグチ ケイジ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	3年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要
時事問題を理解するための知識を身につけ、時事問題に対して関心を高めることを目的とする。時事問題に関心を持ち、これを理解するための知識を得ることは、自分が生きている社会に対する理解を深めることになる。授業では、政治、経済、社会・環境、国際の4つの分野から時事問題を取りあげ、これを理解するための基礎知識について学ぶ。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力 情報収集・分析能力
③ 授業の進め方・指示事項
・テキスト(教科書)を使用する。使用するテキストの詳細は、下記の「⑥テキスト(教科書)」を確認すること。授業にテキストを持参すること。 ・必要に応じて資料を配布する。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
⑤ テキスト(教科書)
ニュース検定公式テキスト編集委員会編 日本ニュース時事能力検定協会監修(2022)『2022 年度版ニュース検定 公式テキスト&問題集「時事力」基礎編(3・4級対応)』毎日新聞出版 *毎年3月下旬頃に出版される。シラバス作成時点では、2023年度版が出版されるという推測のもと記入している。2023年度版が出版されない場合、2022年度版を使用する。
⑥ 参考図書・指定図書
清水書院編集部編『ニュースがわかる基礎用語(2022-2023年版)』清水書院:テキスト理解を深めるための副読本として推薦する。
⑦ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 時事問題を理解するための基礎知識を身につける。 (ii) 時事問題について、他人に自分の考えを述べることができるようになる。

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 時事問題を理解するための基礎知識を身につける。	教科書の時事用語を、教科書を使用せずとも説明でき、さらに教科書に書かれていない時事用語も駆使できる。	教科書の時事用語を、教科書を使用せずとも説明できる。	教科書の時事用語を、教科書を使用すれば説明できる。	教科書の時事用語を、教科書を使用し、さらに教員の支援があれば説明できる。	教科書の時事用語を、教科書を使用し、さらに教員の支援があっても説明できない。
(ii) 時事問題について、他人に自分の考えを述べるようになる。	新聞記事の内容の背景を説明したうえで、課題の指摘と課題解決のための提言ができる。	新聞記事の内容の背景を説明したうえで、課題を指摘することができる。	新聞記事の内容の背景について、説明することができる。	新聞記事の内容の背景について、教員の支援があれば、説明することができる。	新聞記事の内容の背景について、教員の支援があっても説明することができない。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%				30%		100%
(i) 時事問題を理解するための基礎知識を身につける。	25%	10%				15%		50%
(ii) 時事問題について、他人に自分の考えを述べるようになる。	25%	10%				15%		50%
フィードバックの方法	小テストは採点后、解説の時間を設ける。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
丁寧な解説と分かりやすい授業資料等の活用を行う。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	イントロダクション	シラバスを熟読し授業の目的を理解したうえで授業に参加する。	60分
2	時事問題（政治分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120分
3	時事問題（政治分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120分
4	時事問題（政治分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120分
5	時事問題（経済分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120分
6	時事問題（経済分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120分
7	時事問題（経済分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120分
8	時事問題（社会・環境分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120分
9	時事問題（社会・環境分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120分
10	時事問題（社会・環境分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120分
11	時事問題（社会・環境分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120分
12	時事問題（社会・環境分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120分
13	時事問題（国際分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120分
14	時事問題（国際分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120分
15	まとめ	学んだ内容の再確認を行う。 小テスト	180分

⑫ アクティブラーニングについて	
知識定着・確認型 AL を採用する。新聞記事などを用いた現実の現象説明への応用にも取り組む。小テストを行い、場合によっては小テストの結果をもとに議論を深める。	

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性